

B-1 写真教材の説明

◆ JICA フォトランゲージキット

1、意義

写真を「見る」ことからさらに進んで、それを「読み解く」ことをめざした教材。一瞬を切り取ったわずか1枚の写真にもたくさんの情報があり、立派な教材として活用できる。1枚の写真から受け取る印象やメッセージは人それぞれだが、その写真を何人かで読み解いていくことで、自分にはない視点や価値観あるいは互いの先入観や固定観念が明らかになる。そうした多様な考え方や受け止め方を共有しながら、写真が伝える問題や状況の真実に迫ったり、撮影者の意図やメッセージを分析したり、また、学習者による相互理解や相互学習を深めることを目的とする。

2、内容

世界7ヶ国（クック諸島、ケニア共和国、トルコ共和国、バングラデシュ人民共和国、フィリピン共和国、ペルー共和国、マリ共和国）の生活や文化を映した35枚の写真で構成されている。

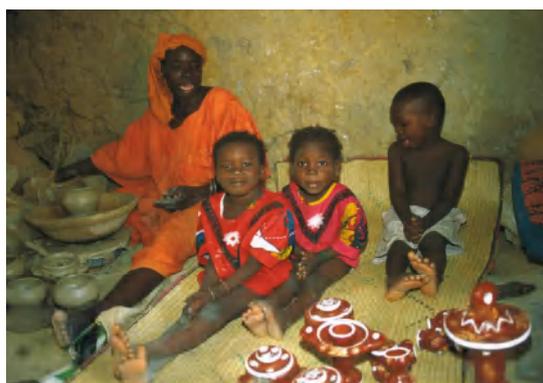
写真の選び方や使い方は、定型化されたものではない。1枚の写真だけを使うこともできれば、すべての写真を使うこともできる。たとえば、ある単元や学習プログラムの導入部分で活用することも可能であるし、何枚かの写真を選び取ったうえで、「家族」「子ども」「仕事」「食べ物」といったテーマ学習を行うことも可能である。それだけに、指導者（ファシリテーター）の力量が問われることとなるが、その分、学習者の年齢・関心・経験などに応じた柔軟な学習活動を組み立てることができる。

なおこの教材には、写真を使った6通りの授業案と7ヶ国のデータを収めた解説書が付いている。

形式：写真（A4版カラー35枚）、冊子（解説書A4版20ページ）



バングラデシュ人民共和国



マリ共和国

（独立行政法人 JICA 国際協力機構 web ページより作成）